

●岩佐 昭紀・戸田 武・藤 晋一・古屋 廣光

秋田県内水稻栽培地帯における *Pythium arrhenomanes* および *P. graminicola* の分布

Iwasa, A., Toda, T., Fuji, S., and Furuya, H.:Distribution of *Pythium. arrhenomanes* and *P. graminicola* on rice field area in Akita prefecture

イネ苗立枯病に関与する *P. arrhenomanes* および *P. graminicola* の秋田県内水稻栽培地帯における分布を調査するため, 水田周辺に生息するイネ科雑草の根から両種の検出を試みた. 秋田県内 37 地点の水田周辺で採取したメヒシバおよびエノコログサの根から DNA を抽出し, 種特異的プライマーを用いた PCR により検定を行った. その結果, *P. arrhenomanes* は 33 地点, *P. graminicola* は 6 地点で採取した雑草の根からそれぞれ検出された. *P. arrhenomanes* が検出された雑草の一部から菌の分離を試みたところ, 形態的特徴から *P. arrhenomanes* と同定される菌が容易に分離された. 以上のことから, *P. arrhenomanes* は秋田県内水稻栽培地域の広い範囲に分布することが明らかになった. 2010 年, 東北 4 県 (青森, 秋田, 岩手, 宮城) の育苗箱で発生した *Pythium* 属菌によるイネ苗立枯病には主に *P. arrhenomanes* が関与しているとされる. 水稻栽培地帯の土壤に *P. arrhenomanes* が広く分布していることがその一つの要因になっているものと推察された.